

ビジネスデザイン研究科教育課程編成の方針

■博士課程前期課程

本課程の教育課程は、企業経営全体を俯瞰し、創造的事業を構想する真のゼネラリスト「ビジネスクリエーター」を育成するカリキュラム編成となっている。「ビジネスシミュレーション」および「論文指導」をコア科目とし、経営学・経済学・会計学等に関する多様な科目の履修を通じて経営諸機能の有機的関係を理解し、事業構想力を育成するカリキュラムである。本カリキュラムは、知識修得の目的や課題領域、活動領域の関連性をもつ科目群である「モジュール」の集合として構成されることで、学生に目的意識を持った科目選択を促す。さらに各授業では、多種多様な知識と経験を有する学生にチーム学習の場を提供し、学習効果を高める。

本課程では、上記の目的を遂行するため、40単位以上の単位を修得しかつ統計系、会計系及びファイナンス系の認定試験に合格し、修士論文(ビジネスデザイン)、修士論文(ビジネスリサーチ)のいずれかを選択し、口頭試問に合格することが修了の要件となる。

会計学、ファイナンス、統計及び調査はビジネスの各領域で必要となる基本的な専門知識であり、統計系、会計系及びファイナンス系の認定試験はそれを確認するために行われる。修士論文(ビジネスデザイン)は事業構想から事業計画の策定・実施・評価という高度な専門知識及び構想力を結集して作成される。修士論文(ビジネスリサーチ)は、経済社会問題の究明と克服に資する知見を提出し得る思考力と分析力によって執筆される。修士論文の執筆は各モジュールの講義科目の履修を基礎として、論文指導科目として用意された「論文指導1」「論文指導2」にて行われる。

修得単位は、必修科目(ビジネスシミュレーション)4単位、選択必修科目(論文指導)4単位、選択科目32単位以上の履修を必要とする。

なお、統計系、会計系及びファイナンス系の認定試験はそれぞれに対応する選択科目の単位修得によってこれを免除することができる。

また、選択科目のうち10単位を上限として社会デザイン研究科および人工知能科学研究科(それぞれ研究科として定めた科目)の設置科目を修了要件単位に算入することができる。

■博士課程後期課程

本課程は、自立した研究活動を遂行し得る能力の養成を図るため、複数の教員による指導体制と学生相互の研究発表の場を設ける。複数の指導教員と異なる研究領域の在籍学生全員の視点を導入することで博士学位申請論文の作成を計画化する。学位申請論文の提出にあたっては、2回以上の学会報告および2篇以上の査読論文を含む公刊された論文3篇以上の研究業績を客観的基準として設定し、申請論文作成の段階的目標とする。また、学位申請論文を提出しようとする者には、それに先立ち予備論文を提出させ、これに対し複数の教員が共同で指導を行い、より質の高い学位申請論文の完成を図る。

博士論文の完成には、高度な専門的・理論的知識と社会科学的方法論に基づき、経済社会の諸問題の究明と克服に資する学術的論文を執筆する能力が要求される。経営学・経済学・会

計学等の企業経営の各専門領域における専門的・理論的知識、および社会科学的分析と究明に要する方法論的知識及び分析スキルの修得は、コースワークとして設置された講義・演習科目の履修によって行われる。高度な専門的・理論的知識と社会科学的的方法論に基づき、経済社会の諸問題の究明と克服に資する学術的論文を執筆する能力は、正指導教授による指導科目（リサーチワークA）および所属する大学院生が一堂に会してディスカッションを行う科目（リサーチワークB）にて行われる。

学位取得にはリサーチワークAのうち正指導教授が担当する科目 12 単位、リサーチワークBの科目6単位、コースワークの科目6単位以上を修得するとともに、博士学位申請論文を提出、審査に合格することを修了要件とする。なお、大学院学則第6条（優れた研究業績をあげた者）の規定により標準修業年限を短縮し修了する場合の修得単位は別に定める。